

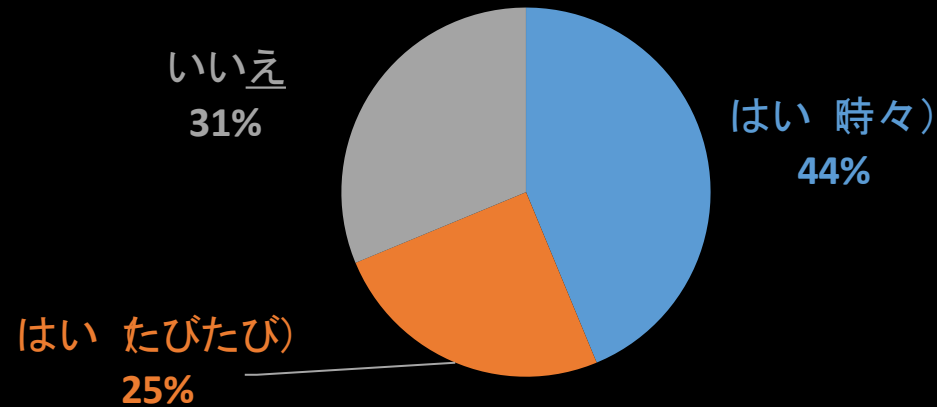
愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業報告

グループホームやわらぎ

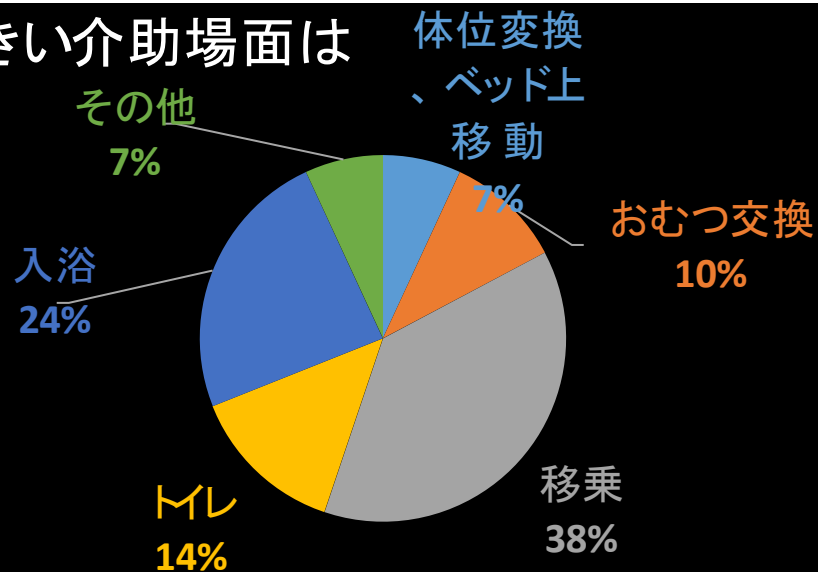
令和2年8月20日
ユニットリーダー 谷口 まゆみ

職員の介護負担（導入前腰痛アンケートより）

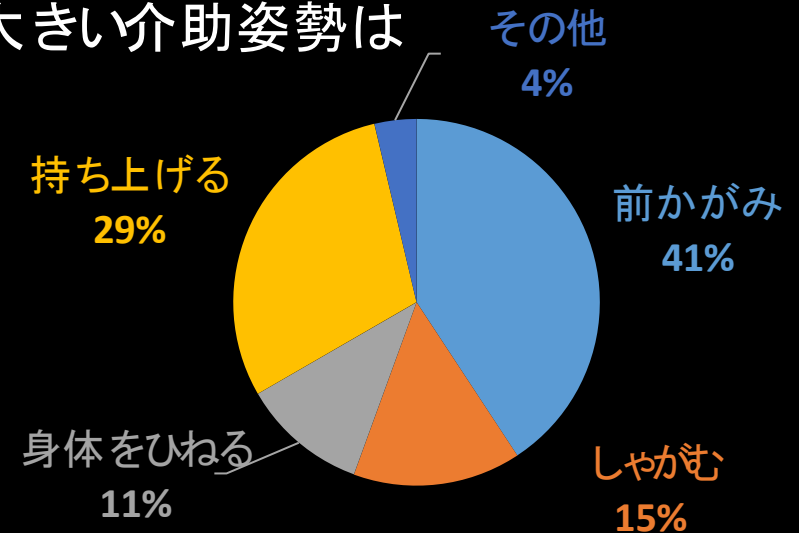
現職に就いてから
腰痛が発生していますか



負担の大きい介助場面は



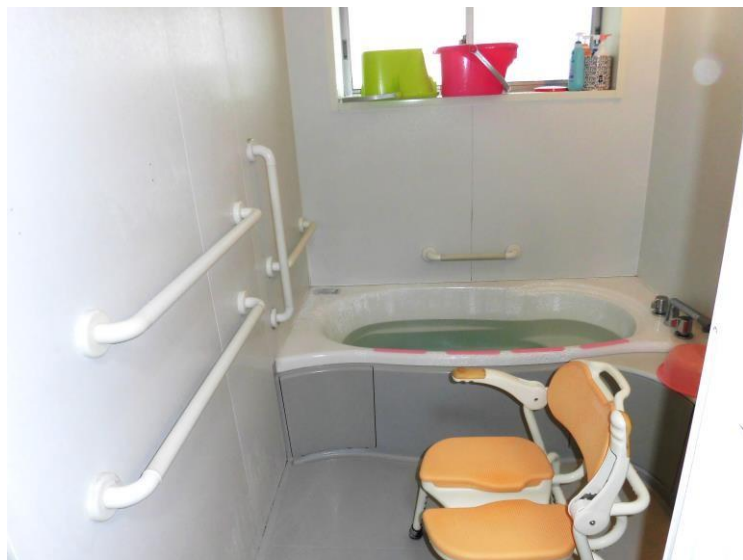
負担の大きい介助姿勢は



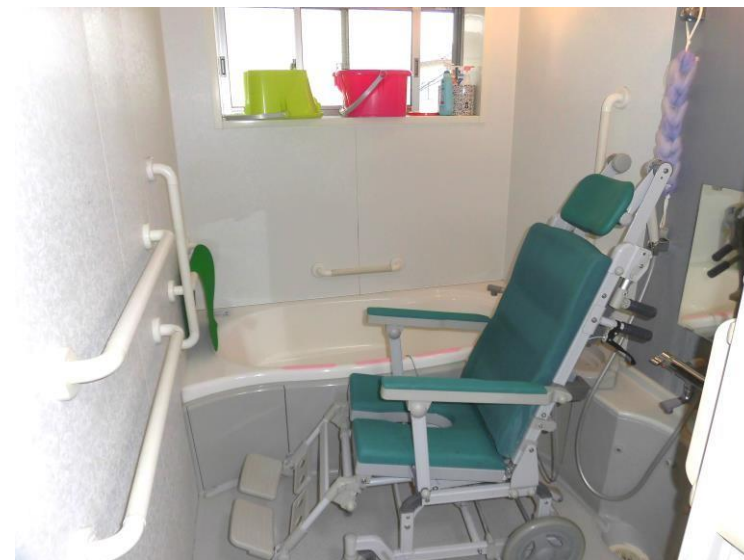
モデル事業の応募理由

- 入居者の身体機能の低下
- 身体介護の負担が増
- 双方の負担軽減したい
- 居室が狭く、大きな器具の導入が難しいと思っている
- 福祉用具の検討を講師と共に考えていきたい

導入前



シャワーキャリー導入後



シャワーキャリーを導入したが狭い!!

入浴デモ機の導入時の問題点

- 浴室が狭い(一般的な家庭の広さ)
- 浴槽の作りがバスボードと合わず、固定ができない
- (やや大きめで、深く、形は縁が緩やかなカーブである)
- しっかりと固定できるバスボードとシャワーキャリーを貸与
事業所の協力を得て試用した



指示が通りにくい / サイズが合わない / バスボードから手すりの位置が遠い / バスボードから湯船につかる時背中をボードで擦ってしまう / 湯船から出るときにボードが邪魔になる

入浴時の解決策

- リフトの検討

- ＜メリット＞

- 立位困難な方が浴槽につかることができる
 - 浴室で滑って転倒するリスクを軽減
 - 抱え上げる介助が減り、職員の負担が軽減する

- ＜デメリット＞

- 高価であり、即導入にはつながりにくい



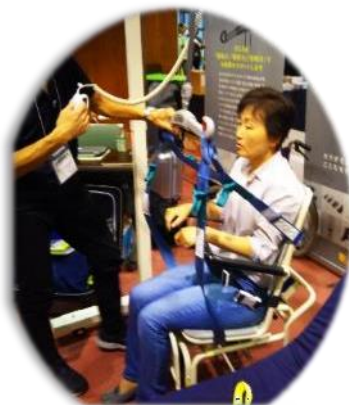
リフト体験会を実施し、経営者に参加してもらった



経営者にも
参加してもらいました

リフト体験会

第8回えひめ福祉用具フェアの様子(令和元年9月20日)



入浴用シャワーキャリーとリフト

ポジショニングシート

導入物品

他にも移乗
シーツ・
車椅子など
あります



フレックスボード



体位変換シーツ
ポジショニングピロー



ポジショニングクッション

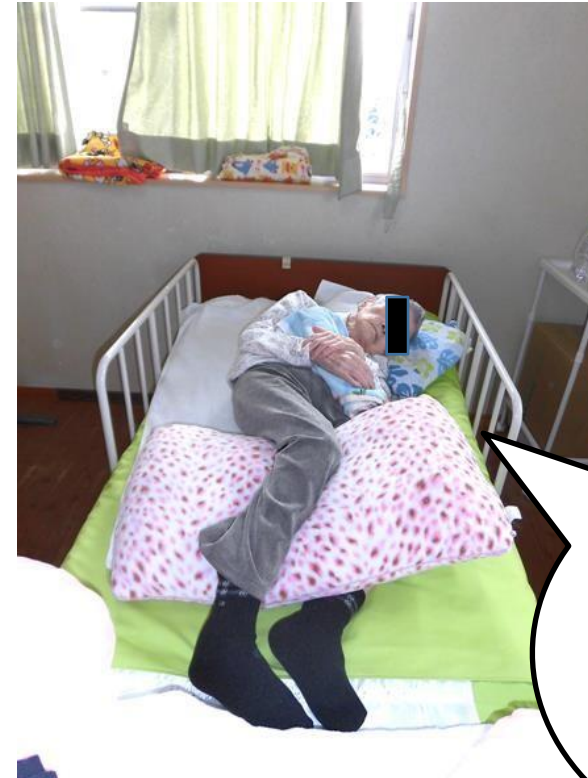


スライディングボード



オーバル





- 左側臥位
- 姿勢を変えると不眠になる

ノーリフティングケア導入前の就寝姿勢



ベッドでのポジショニングをする前の様子

顔が上がらない
左手で頭を
支えている

ポジショニングクッション
を使って仰臥位に



ベッドでのポジショニング

ポジショニング後の座位の様子



顔がしっかりと上がって
いる
(対象者は右側)



今後の取り組み

- 学んで得た知識を実践し続けつために、勉強会を実施する
- スタッフの「抱え上げはしない」という意識の定着を図る
- ノーリフティングケアの必要性の再確認
- ポジショニングでの拘縮予防・褥瘡予防につなげる
- 以上のことを実行して介護する側・される側双方に安心安全な介護を実践していく

最後に(モデル事業を終えての職員の感想)

- 福祉用具の使い方、ポジショニングの重要性など知らなかったことをたくさん学ぶことができてとても有意義だった
- ポジショニングの研修が受けられたこと(入所者ごとに個別に細かく教えていただけたことがとてもよかった)
- 初めて研修を受けたときは、今までとは違う介助方法だったため、あまり理解できず「大変・・・」と思っていたが今は皆で取り組むことができて良かったと思う
- 利用者の生活の質の向上が見られたのが良かった
- 自分たちだけでは適切な福祉用具の選定ができなかったが、関わってくださった先生方が対象者の身体状況に応じた福祉用具の選定、使用方法などを指導してくださったのでスムーズな導入につながった
- この事業を通しての勉強会や研修に参加するまでは、ノーリフティングケアの意味が分からず、本当にこれで双方が楽になるのかと思っていたが、ベッド上での位置を直すためにスライディングシートを使用したところ、腰が楽になった(夜勤時)